

林道事業（市事業）審議資料

（岐阜県事業評価監視委員会運営要領第 6 に基づく審議）

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 1

- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
公共林道事業（道整備交付金、農山漁村地域整備交付金） . . . p 2

- 平成 26 年度 再評価実施箇所（附図）
 - 公共林道事業【鎌辺～明山線】郡上市 . . . p 3
 - 公共林道事業【木曾越線】中津川市 . . . p 4

- パワーポイント説明資料
 - 公共林道事業【鎌辺～明山線】郡上市 . . . p 5～p 12
 - 公共林道事業【木曾越線】中津川市 . . . 13～p 19

平成26年度 再評価対象箇所一覧表 8月8日審議箇所
 [郡上市、中津川市]

番号	事業名	路線・地区・河川名等	実施箇所(市町村名)	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費(百万円)		実施済み額(百万円)		進捗率(%)		経過年数(H26.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地元の意向	環境との調和への配慮事項	事業費縮減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項	
						全体事業量	実施済事業量	事業実施率	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費										工事費等
3	公共林道事業	辯辺～明山	郡上市	H8	H30	L=4,569m	L=3,654m	80.0%	1,280	1,028	80.3%	20	新市建設計画(H26～H30)	-	郡上市「長良川木村事業協同組合」稼働予定地元は早期完成を強く要望している。	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の採用	標準設計に代わり、路側擁壁に1型擁壁工や補強工壁工を採用	投資効果(1.1) 1.1	継続				
4	公共林道事業	不曾越	中津川市	H16	H27	L=2,910m	L=2,706m	93.0%	658	586	89.1%	10	中津川市森林整備計画	-	中津川市「森の台坂工場」稼働予定地元は早期完成を強く要望している。	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の採用	標準設計に代わり、路側擁壁に1型擁壁工や補強工壁工を採用	投資効果(1.6) 1.1	継続				

費用対効果分析：()は前回再評価時又は事業計画時の投資効果率

平成26年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

郡上市、中津川市

○事業制度について	事業名	公共林道事業（道整備交付金、農山漁村地域整備交付金）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 ・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 ・森林施業道開設
○費用対効果の分析について	効果の項目	<ul style="list-style-type: none"> ・うち貨幣換算する項目（B） ・水源涵養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
	その他項目	
費用便益B/C	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間
	費用便益比の基準	費用便益比（B/C） \geq 1.0

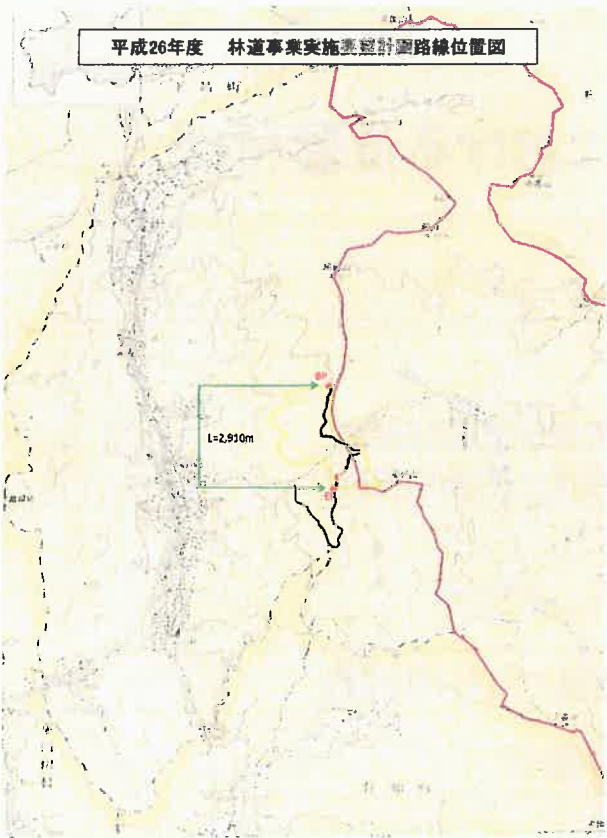

平成26年度 再評価実施箇所 (附図)

[郡上市]

番号	3	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業 林道 鎌辺～明山線
事業実施箇所	起点：郡上市明宝奥住 終点：郡上市明宝奥住	事業主体	郡上市
採択年度	平成6年度	完了予定年度	平成30年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>利用区域森林内(面積252ha、人工林率54%)の骨格となる幹線林道を開設することにより、森林の適正管理に資するとともに、作業道と接続することによる効率的な林業経営と適切な森林整備の促進を図る。</p>		
事業概要	<p>林道開設 幅員 4.0m 全体計画延長 4,569m 全体事業費 1,280,000千円 利用区域内森林面積 252ha 同蓄積 20,556m³</p>		
概要図			

平成26年度 再評価実施箇所（附図）

〔中津川市〕

番 号	4	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 林道 木曾越線		
事業実施箇所	起点：中津川市加子母平田 終点：中津川市加子母北桑原	事業主体	中津川市		
採択年度	平成16年度	完了予定年度	平成27年度		
再評価の実施基準	事業着手年度から10年が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>本林道の利用区域内の人工林率は76%で、これら森林資源の適正な管理、生産性の向上、森林の公益的機能を高度に発揮させることを目的に林道開設を実施する。</p>				
事業概要	<p>林道開設 幅員 W=4.0m 全体計画延長 2,910m 全体事業費 658,020千円 利用区域森林面積 170ha 同蓄積 28,894m³</p>				
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>				

公共林道事業 鎌辺～明山線の再評価



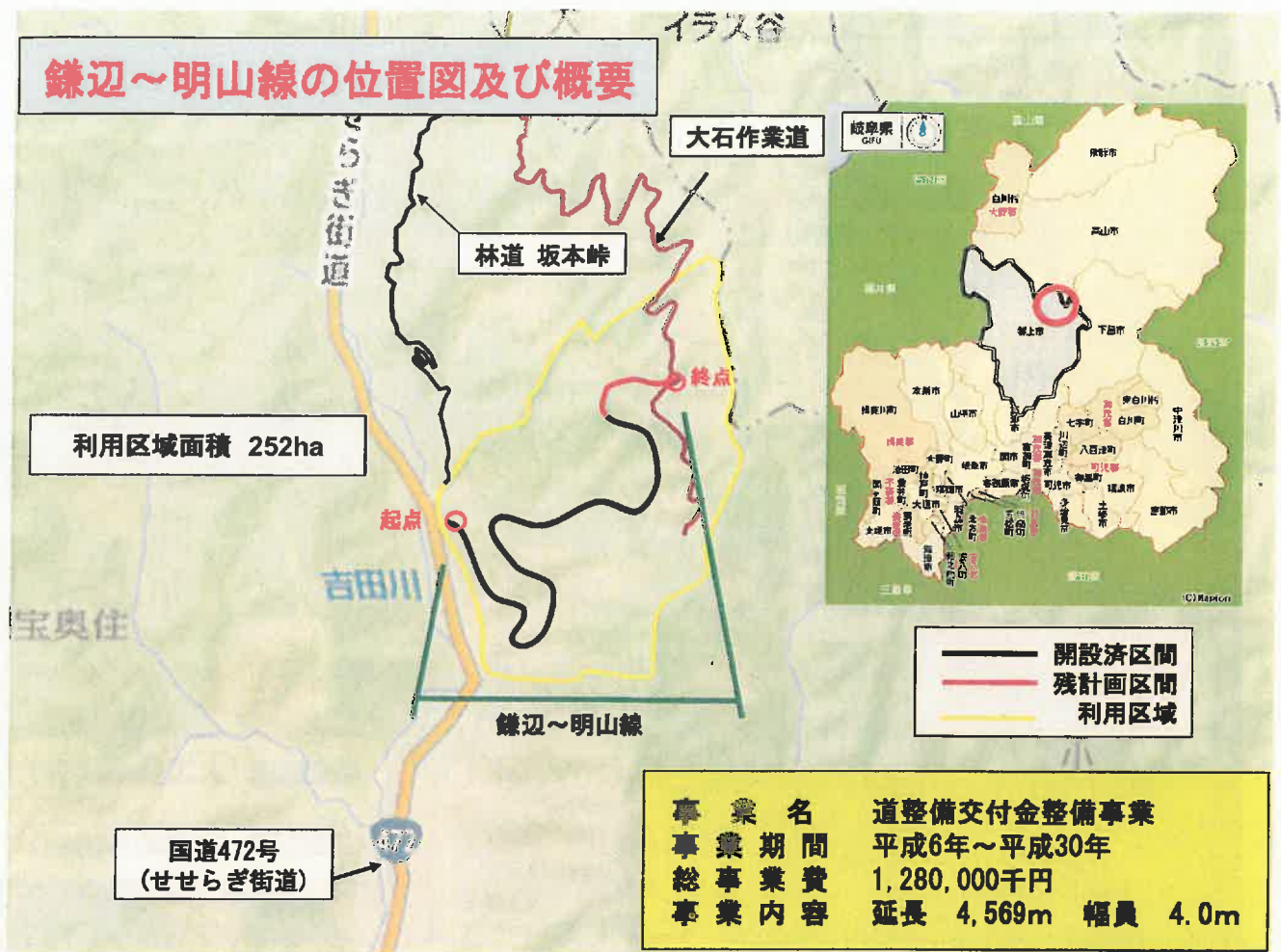
郡上市の政策における位置付け

◇新市建設計画

第1期(平成16年度～平成25年度)

第2期(平成26年度～平成30年度)

- 健全で豊かな森林づくりの推進
- 木材生産活動の強化



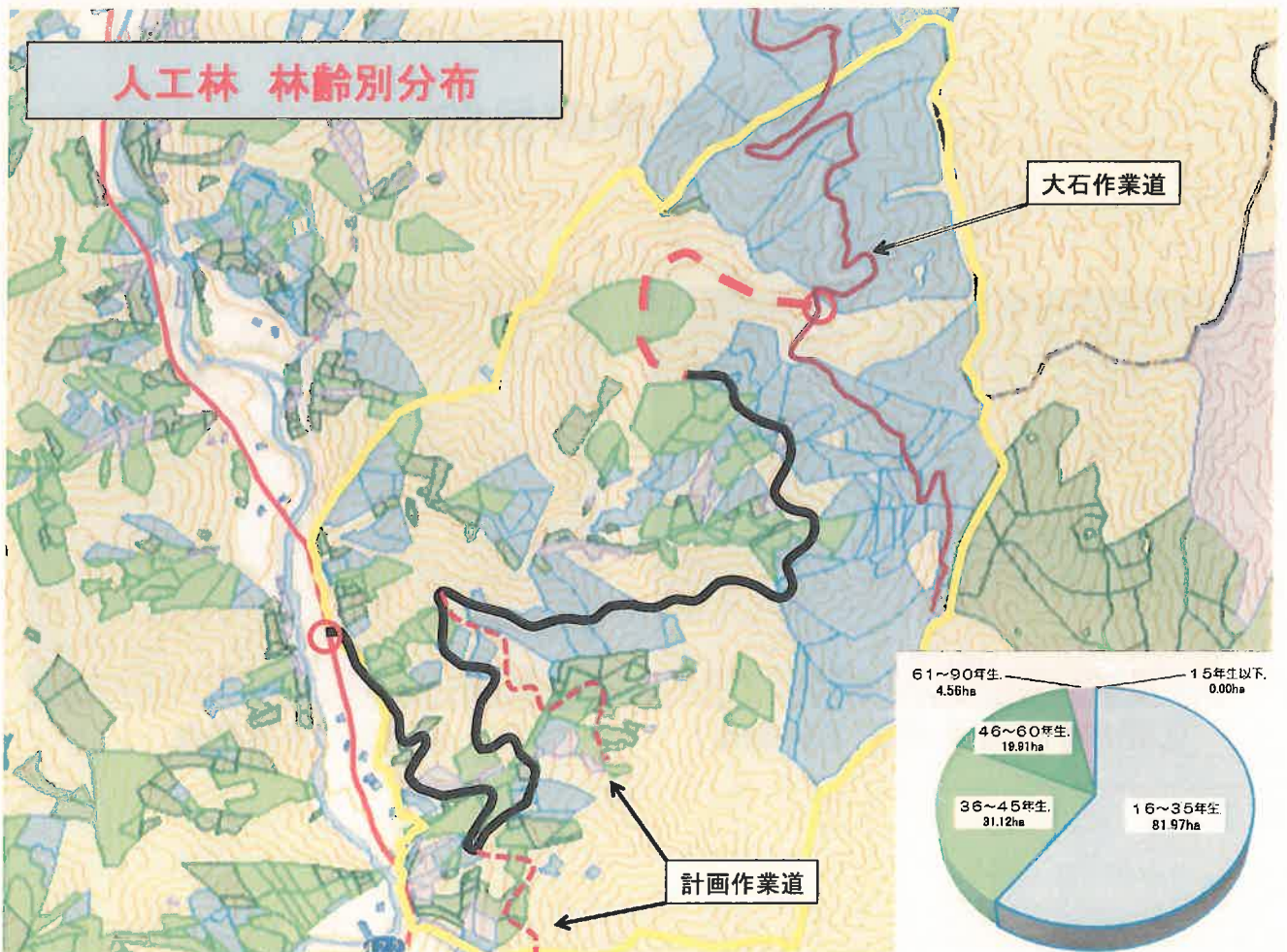
林道事業の目的

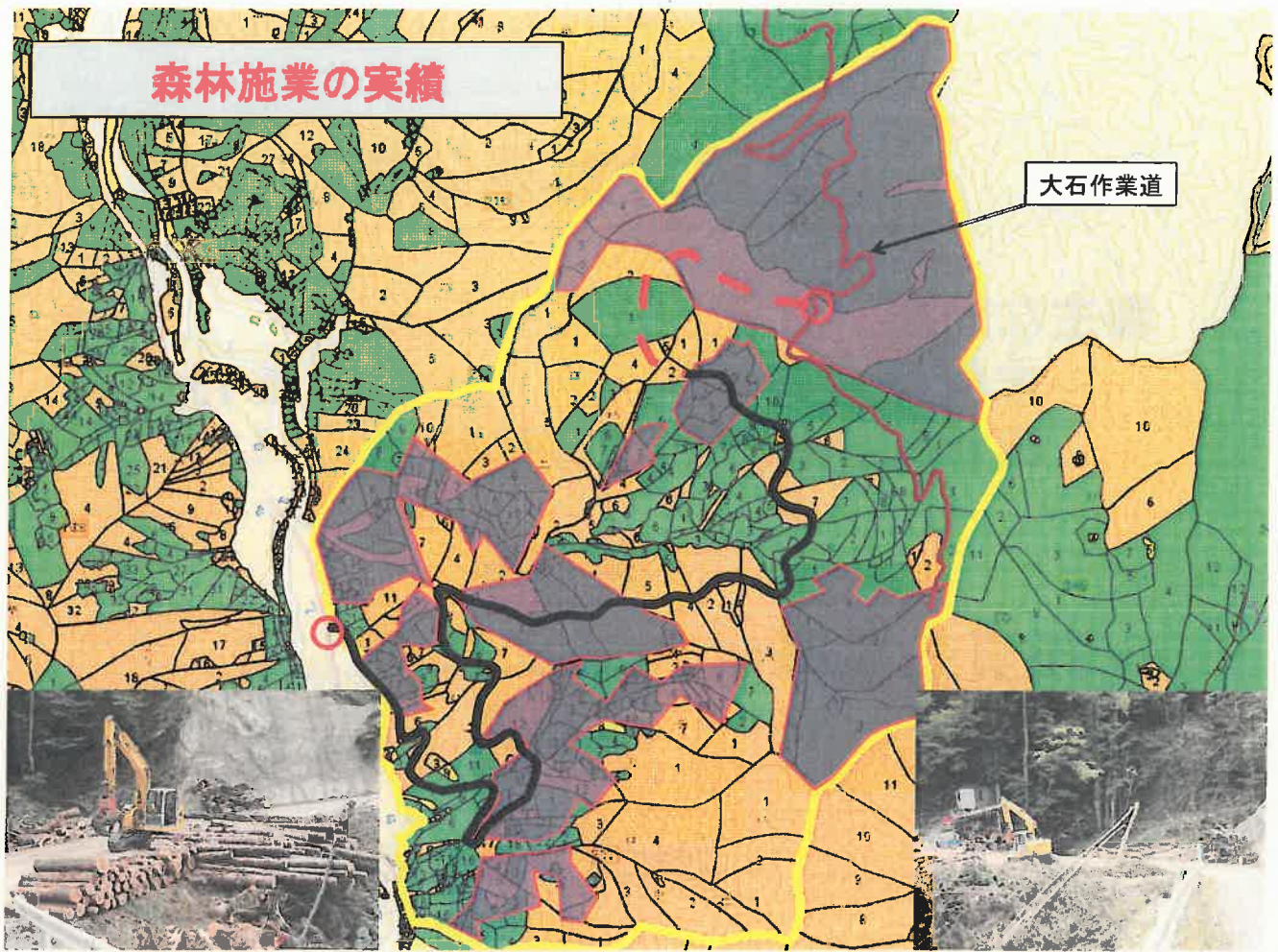


①効率的な林業経営(木材搬出)

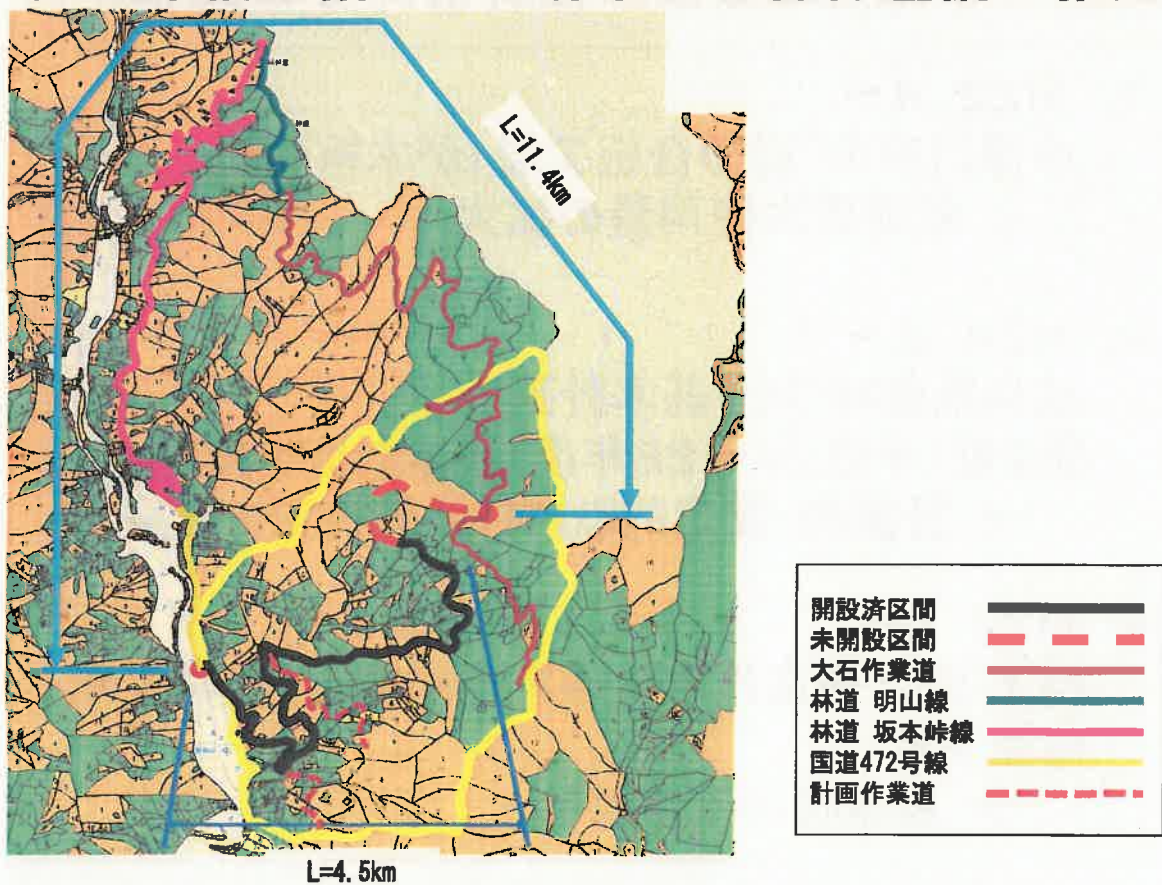


②適正な森林整備





林道路網整備による効率的な森林整備の推進



費用対効果分析

■主な効果

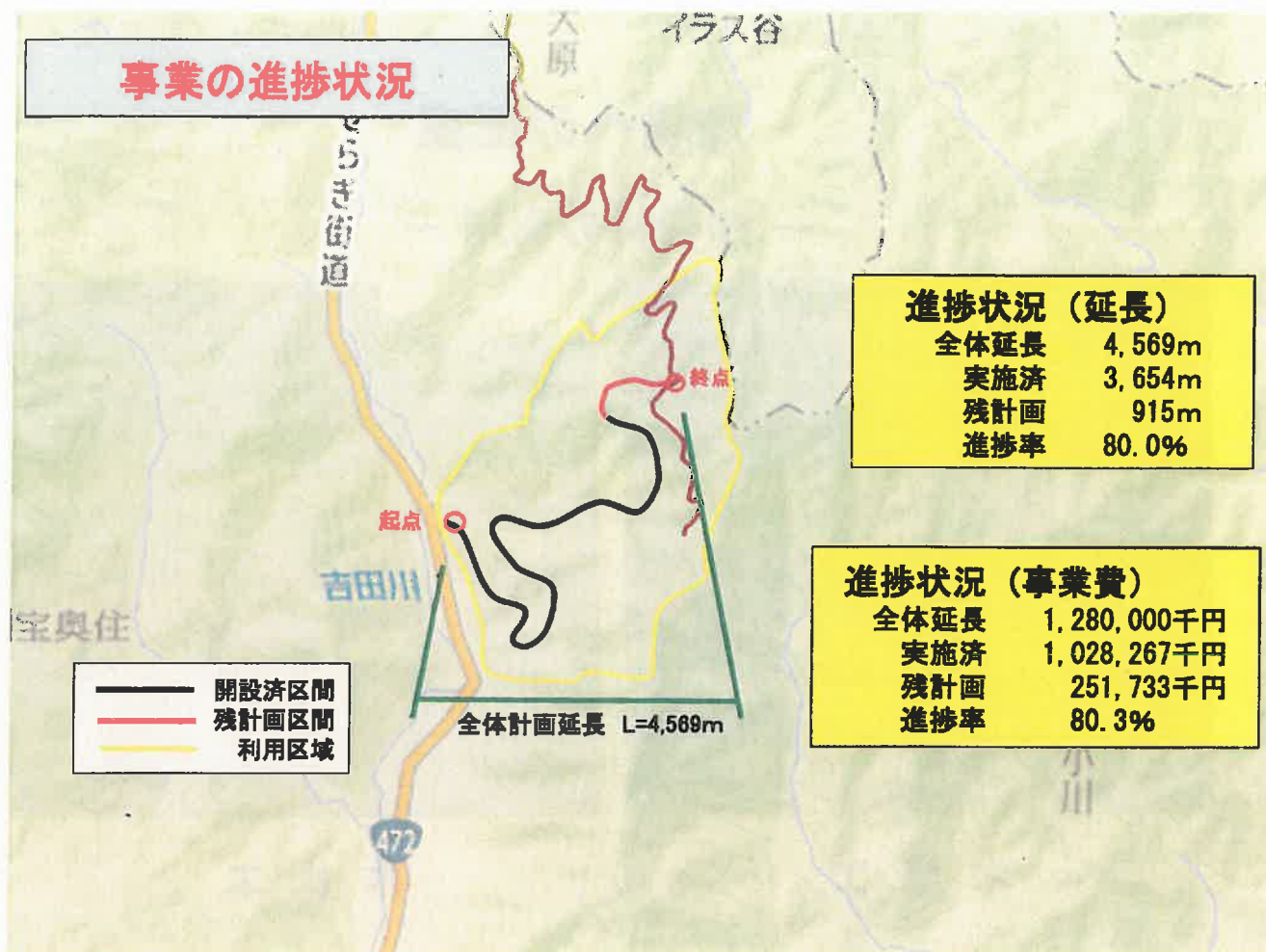
木材生産等便益	6%
森林整備経費縮減等便益	94%

$$\text{投資効果率} = \frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.1$$

(前回再評価時(H21) 1.1)

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- H23. 4～
中津川市の「森の合板工場」が本格稼働
→ 年間原木使用量の拡大
- H24. 3～
岐阜県森林づくり基本計画
第2期(平成24～28年度)基本計画を策定
→ 計画的・安定的な木材供給対策を推進
- H27. 4～
郡上市に「長良川木材事業協同組合」製材工場
稼働予定
→ 県産材の安定供給



コスト縮減の取り組み



残土処理費縮減のため
補強土壁工を採用

プレキャストL型擁壁工

環境への配慮

－ 間伐材の利用 －



木柵工



木伏工

関係者の意向

- 適切な森林整備の促進や森林施業の低コスト化を図るには林道が必要
- 森林整備の遅れている中腹以上の森林へのアクセスの改善に有効。
- 木材市場へのアクセス向上に重要。



早期完成を強く希望

対応方針（案）

1. 利用区域内の人工林率は54%と高く、搬出間伐を中心とした森林整備を促進させる。
2. 既設作業道に接続させる事により林道を中心とした森林路網が整備される。
3. 森林所有者及び関係機関から事業継続・早期完成を強く要望されている。



継続して事業を実施することが妥当

公共林道事業

木曾越線の再評価

中津川市基盤整備部 福岡基盤整備課

市の政策における位置付け

◇中津川市森林整備計画

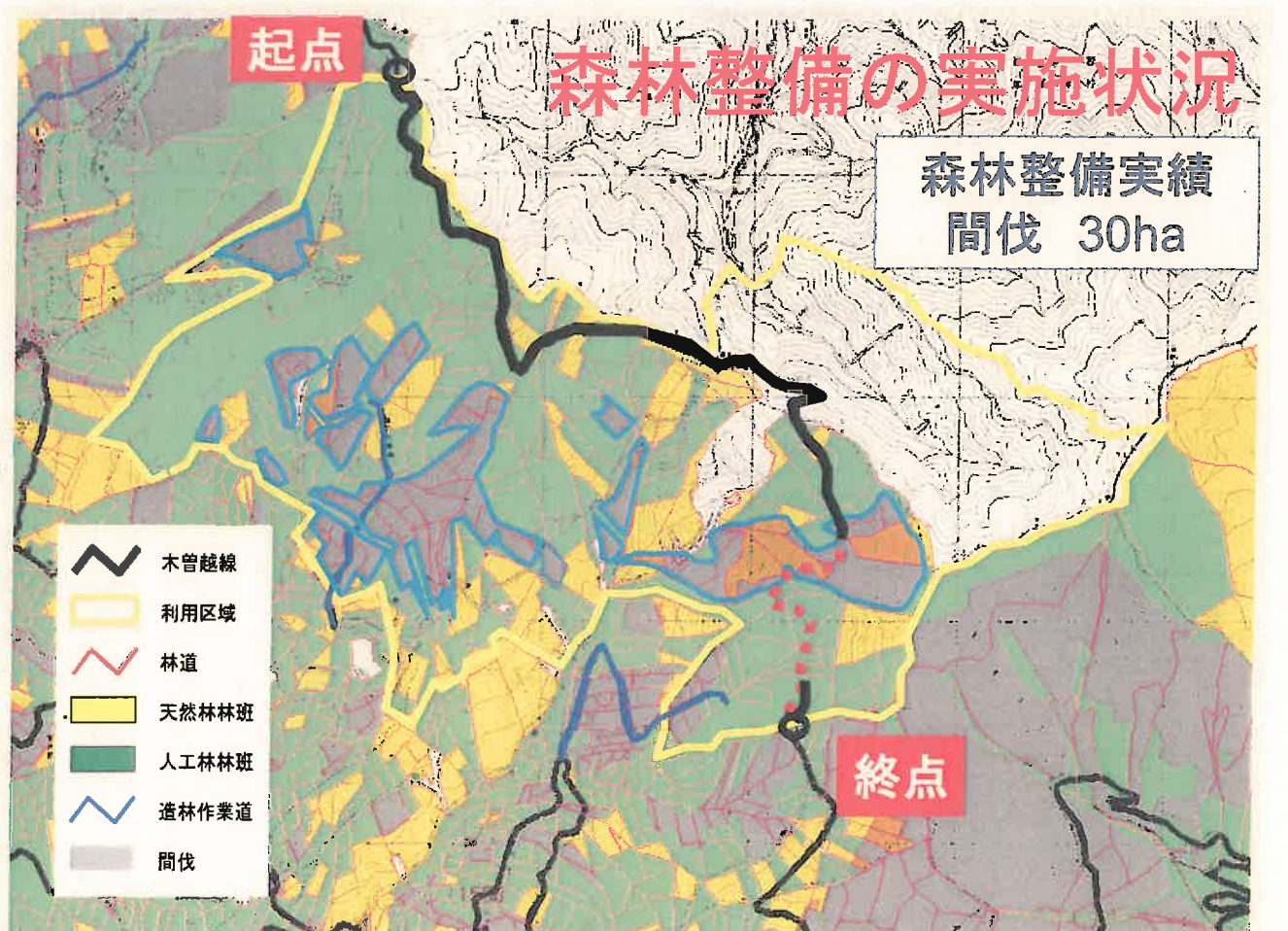
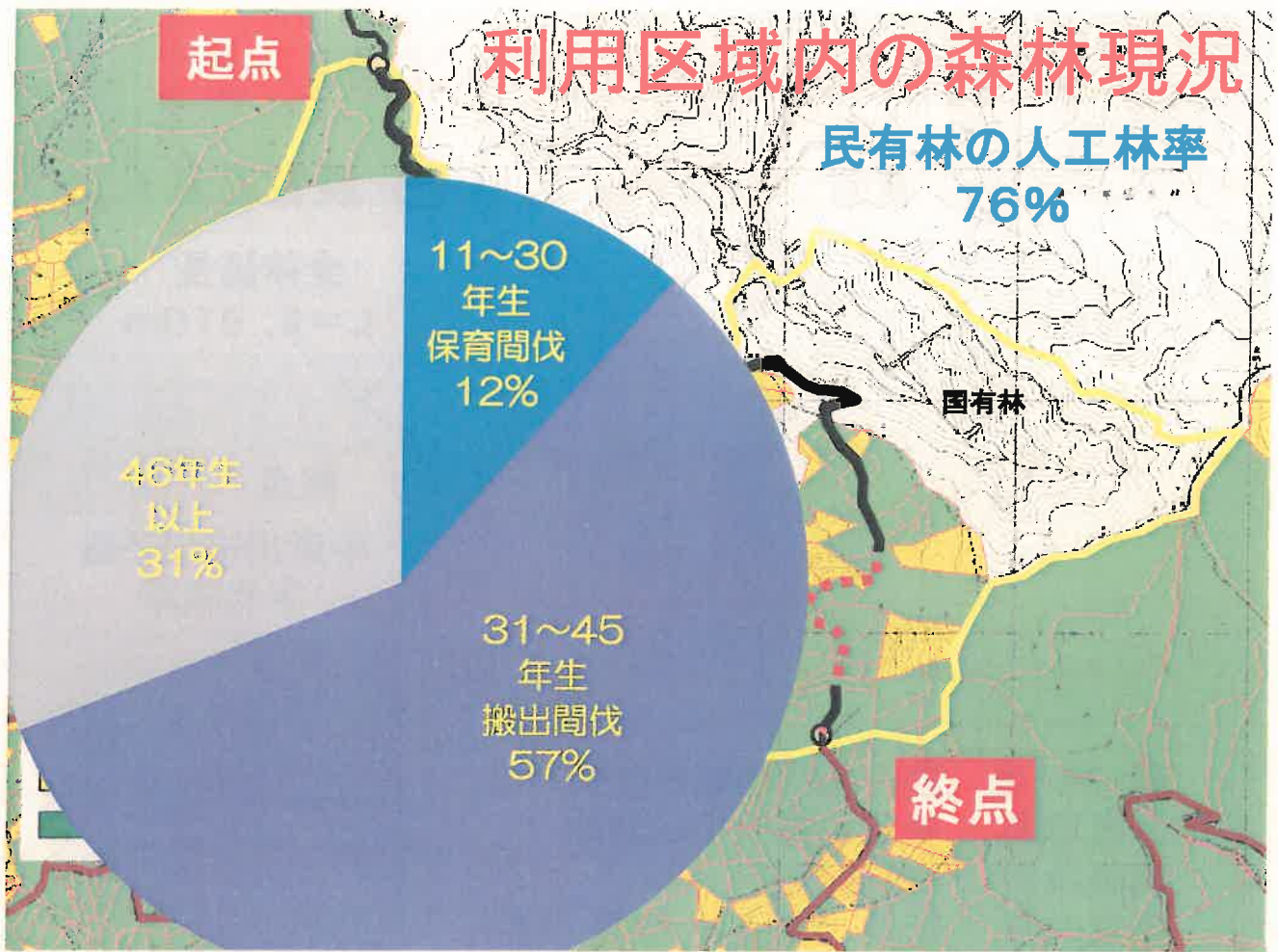
変更計画(平成25年度～平成34年度)

○ 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備

・基幹路網の整備計画として林道木曾越線の開設

木曾越線の位置図及び事業概要





投資効果分析

■ 事業の効果

- 木材生産等便益 4.9%
- 森林整備経費縮減等便益 73.6%
- その他の便益等 21.5%

■ 投資的效果

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.1 \quad \text{事業計画時(H16)} \quad 1.6$$

事業を巡る社会経済情勢等の変化

■ 森林施業等について

・合板工場の運用開始

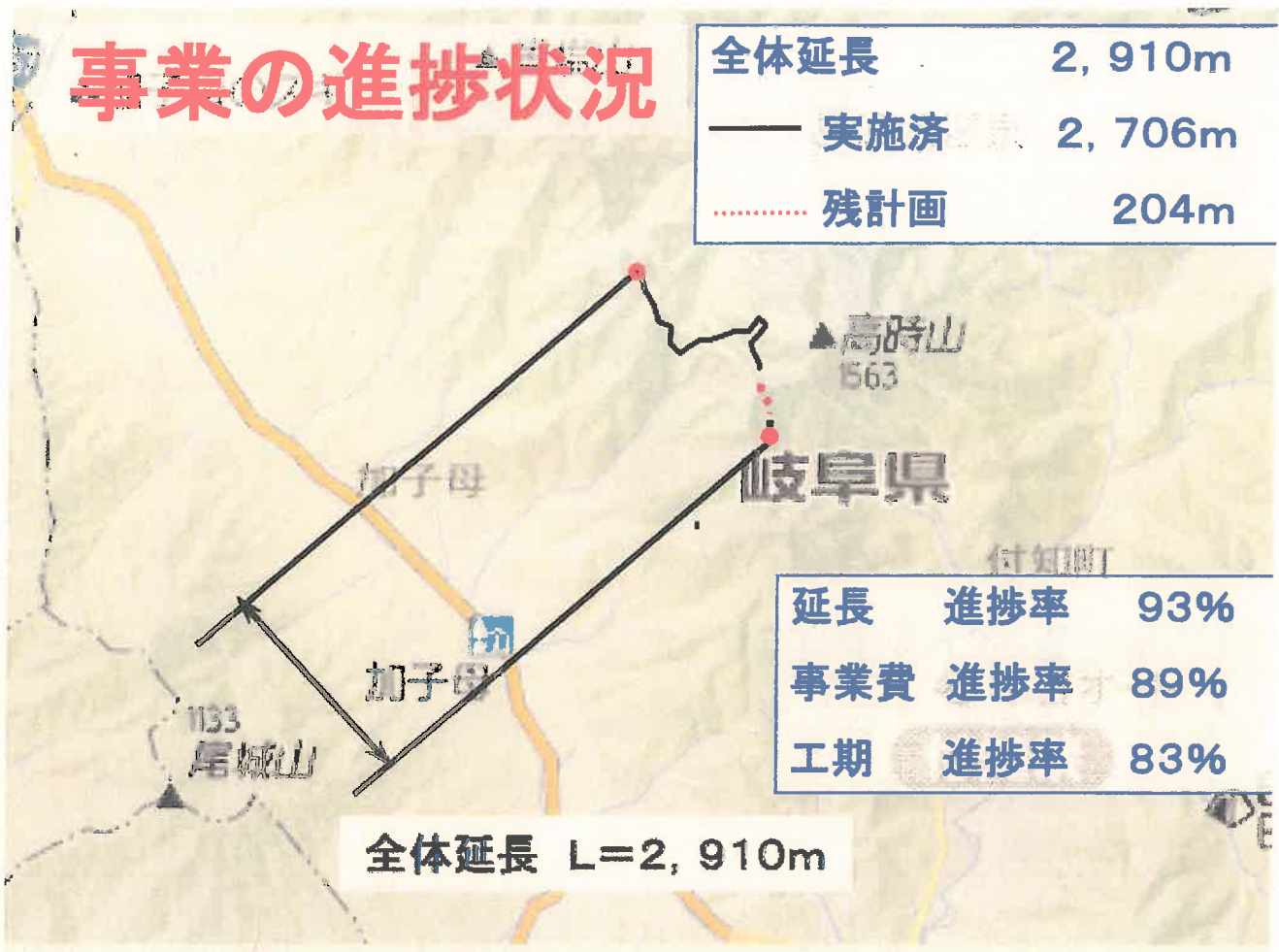
・中津川市加子母地区森林整備推進協定

[平成24年3月に国有林と民有林（中津川市市有林、岐阜県行造林地、岐阜県森林公社造林地、王子製紙(株)社有林の4者）が協定締結

・森林経営計画制度の策定

事業の進捗状況

全体延長	2,910m
— 実施済	2,706m
..... 残計画	204m



延長	進捗率	93%
事業費	進捗率	89%
工期	進捗率	83%

全体延長 L=2,910m

コスト縮減の取り組み

- 補強土壁工の活用による残土処理の軽減
- 残土を活用した木材集積場の整備



残土の軽減を図る補強土壁工



木材集積場

環境への配慮

- 間伐材を利用した工法の採用(丸太伏工、木柵工等)



丸太伏工

関係者の意向

- 当地域は東濃桧の主産地であり、林道整備を行うことにより、森林施業の低コスト化が図られ、今後の林業経営に大きな役割を果たす。

早期完成を強く希望

対応方針(案)

- 間伐を始めとした地域の森林整備を進める。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している。



継続して事業を実施することが妥当